



東北化学薬品株式会社

2011年9月期 決算説明会

東北化学薬品株式会社

2011年12月8日

3月11日に発生した東日本大震災で被災された皆様には、心より
お見舞い申し上げます。

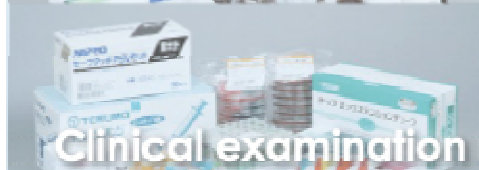
また、被災地の一日も早い復興と、被災者の皆様に一日も早く生
活の安定が訪れますよう、心よりお祈り申し上げます。

当社グループとしては、化学工業薬品、臨床検査試薬、食品・農
業資材の供給などを通じて復興に貢献してまいります。

なお、本震災による当社の従業員の人的被害及び設備等の物的
損害はありません。



Chemical industrial medicine



Clinical examination reagent



Food



Agricultural materials

第一部 2011年9月期決算の 決算概要

説明者
管理グループ経理部
部長 小寺 伸哉

連結損益計算書

(単位: 百万円)

	2010年9月期		2011年9月期			
	実績	対前期比 (%)	実績	計画	対前期比 (%)	対計画比 (%)
売上高	19,164	107.5	18,734	18,500	97.8	101.3
売上原価	17,034	107.7	16,664	16,420	97.8	101.5
売上総利益	2,129	106.5	2,070	2,080	97.2	99.5
販売費及び 一般管理費	1,878	93.5	1,936	1,920	103.0	100.8
営業利益	251	-	134	160	53.6	84.1
経常利益	278	1751.3	161	180	58.0	89.8
当期純利益	73	-	24	68	33.4	35.9

部門別業績

(単位: 百万円)

	売上高			売上総利益		
	2010年9月期	2011年9月期	対前期比 (%)	2010年9月期	2011年9月期	対前期比 (%)
化学工業薬品部門	10,844	10,391	95.8	1,097	1,066	97.2
臨床検査試薬部門	6,248	6,247	100.0	775	754	97.3
食品・農業資材部門	2,071	2,095	101.2	257	250	97.3

■ 化学工業薬品部門

- 化学工業薬品は岩手、宮城、青森県南を中心に震災影響で売上・利益が減少
- 震災復興予算の動きは鈍い

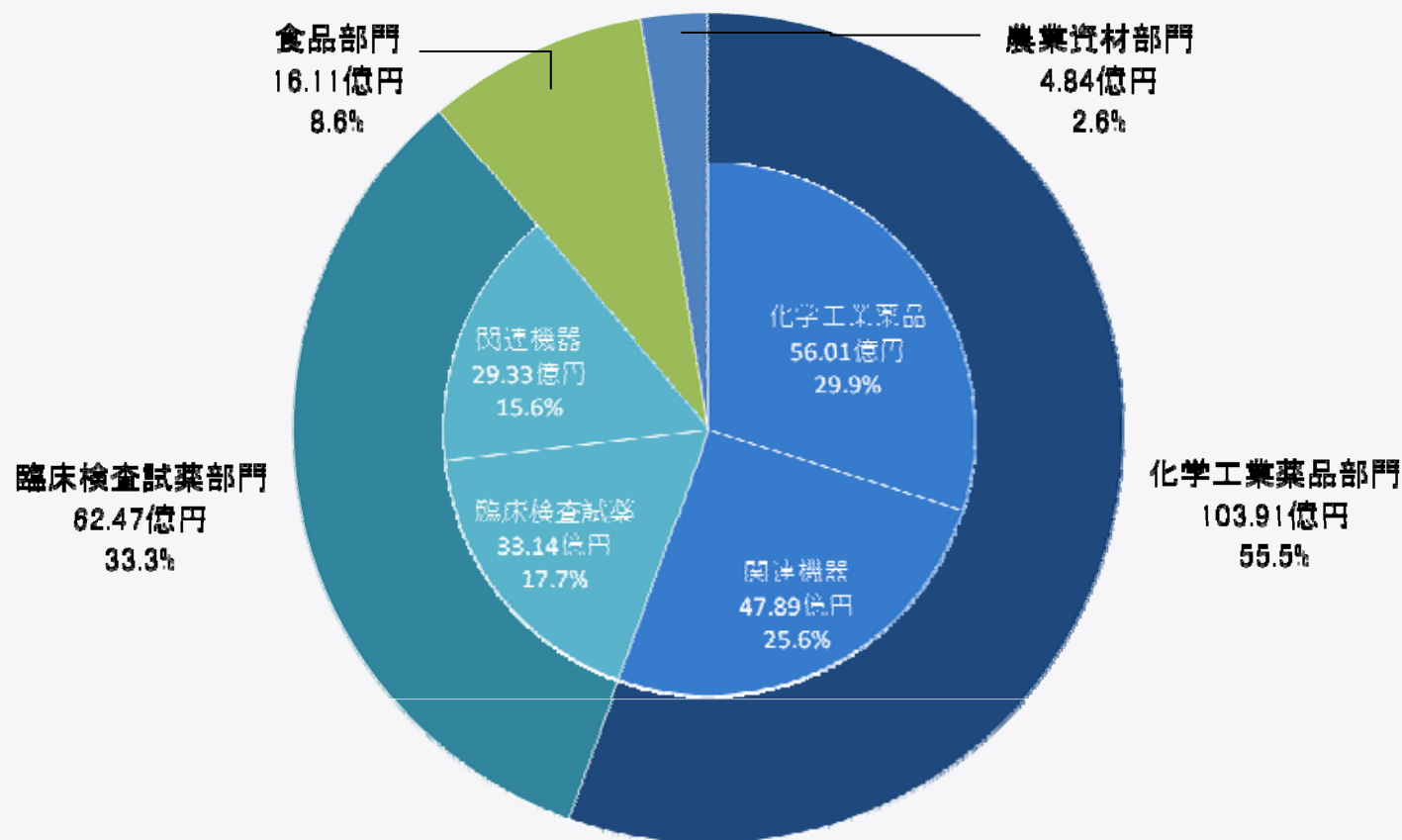
■ 臨床検査試薬部門

- 国立病院機構等の共同入札と値引要請の影響を受ける
- 関連機器は順調だが競合が激化、利益確保が難しくなっている

■ 食品・農業資材部門

- 食品添加物(食品素材・調味料)の増加により売上増
- 震災後の商品流通停滞による影響と病虫害発生減による農薬散布量の減少
- 食品部門の利益率減少と農薬部門のリベート減少

品目別販売業績



連結貸借対照表(資産の部)

(単位: 百万円)

	2010年9月期	2011年9月期	対前期比(%)	変動要因
流動資産	5,508	5,646	102.5	
現金及び預金	643	812	126.3	
受取手形及び売掛金	4,270	4,236	99.2	
商品	573	502	87.6	
その他	63	137	217.4	リース投資資産 増加
貸倒引当金	42	43	1	
固定資産	3,240	3,537	109.1	
有形固定資産	2,115	2,122	100.3	
無形固定資産	13	11	84.1	
投資その他の資産	1,112	1,403	126.2	リース投資資産 増加
資産合計	8,749	9,183	105.0	

連結貸借対照表(負債・純資産の部)

(単位:百万円)

	2010年9月期	2011年9月期	対前期比(%)	変動要因
流動負債	4,382	4,487	102.4	
支払手形及び買掛金	4,109	4,207	102.4	
その他	273	279	102.2	リース債務増加 未払法人税等減少
固定負債	188	547	290.9	リース債務増加
資本金	820	820	100.0	
資本剰余金	881	881	100.0	
利益剰余金	2,439	2,416	99.0	
その他	37	30	83.4	
負債・純資産(総資産)	8,749	9,183	105.0	

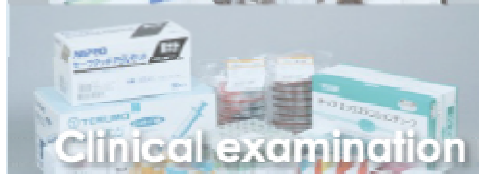
キャッシュ・フロー

(単位: 百万円)

	2010年9月期	2011年9月期	内訳
営業活動によるキャッシュ・フロー	437	288	税金等調整前当期純利益減少
投資活動によるキャッシュ・フロー	119	91	
財務活動によるキャッシュ・フロー	57	72	
現金及び現金同等物の増加額 又は減少額	260	124	
現金及び現金同等物の期首残高	377	637	
現金及び現金同等物の中間期末残高	637	761	



Chemical industrial medicine



Clinical examination reagent



Food



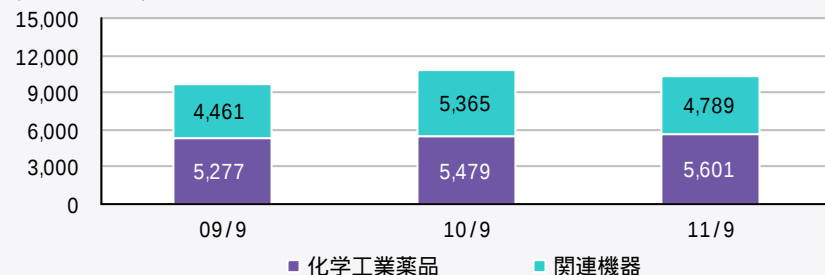
Agricultural materials

第二部 2012年9月期業績予想と 今後の戦略

説明者
代表取締役社長 工藤 幸弘

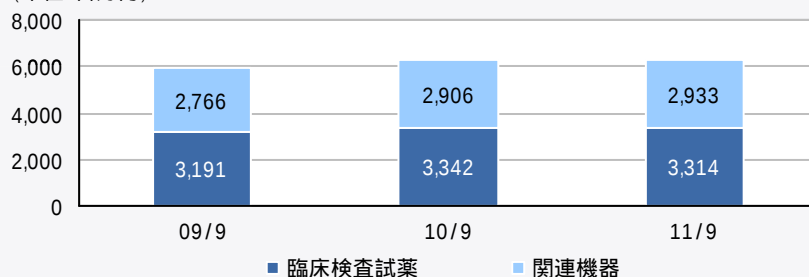
化学工業薬品部門売上高推移

(単位:百万円)



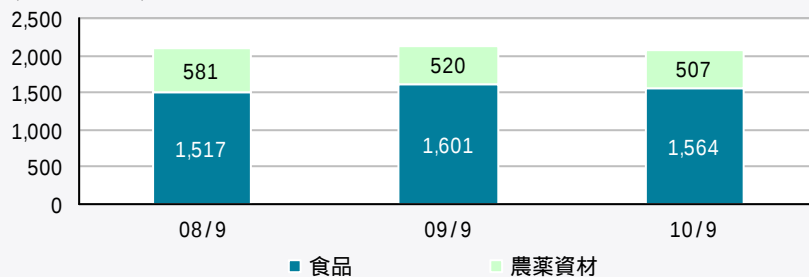
臨床検査試薬部門売上高推移

(単位:百万円)



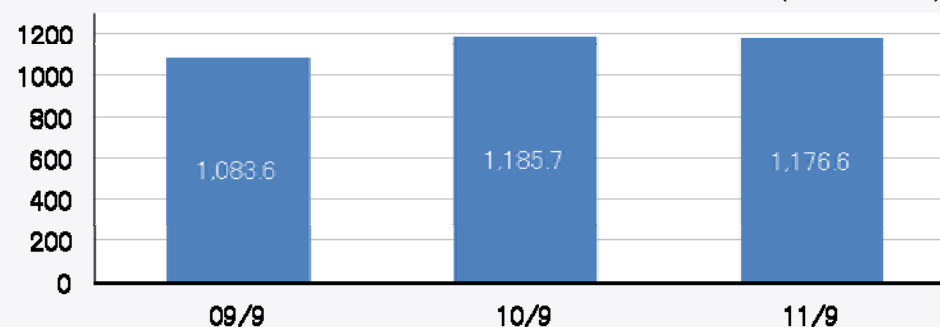
食品・農業資材部門売上高推移

(単位:百万円)

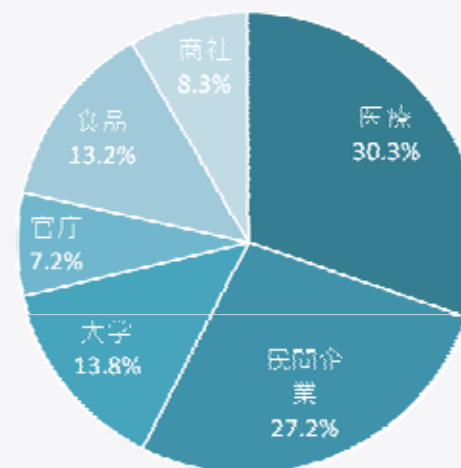


製薬会社 売上高比較

(単位:百万円)



顧客業種別顧客比率(11年9月期)



2012年9月期の業績見通し

(単位: 百万円)

	2011年9月期	2012年9月期予想	対前期比 (%)
売上高	18,734	20,400	108.9
売上原価	16,664	18,185	109.1
売上総利益	2,070	2,215	107.0
販売費及び一般管理費	1,936	1,970	101.8
営業利益	134	241	179.1
経常利益	161	303	187.4
当期純利益	24	110	450.7

- 利益総額アップへの販売戦略見直し
- 取引先との信頼関係をさらに強化し、エリア拡大(関東圏含む)を目指す
- 与信管理の精度を上げ、徹底した管理の下で新規ユーザを獲得する

2012年9月期の部門別見通し

(単位:百万円)

		2011年9月期	2012年9月期	対前期比(%)
化学工業薬品部門	売上高	10,391	11,563	111.3
	売上総利益	1,065	1,159	108.8
臨床検査試薬部門	売上高	6,247	6,520	104.4
	売上総利益	754	767	101.7
食品・農業資材部門	売上高	2,095	2,316	110.5
	売上総利益	250	288	115.3

■ 化学工業薬品部門

- 営業第3グループ……産学連携の商品化に向けた営業を強化する
復興に関与する特需的な物件に対する取組みの強化
- 営業第4グループ……震災影響からの復興による操業回復事業に対応する
環境放射能測定器等の需要拡大

■ 臨床検査試薬部門(営業第2グループ)

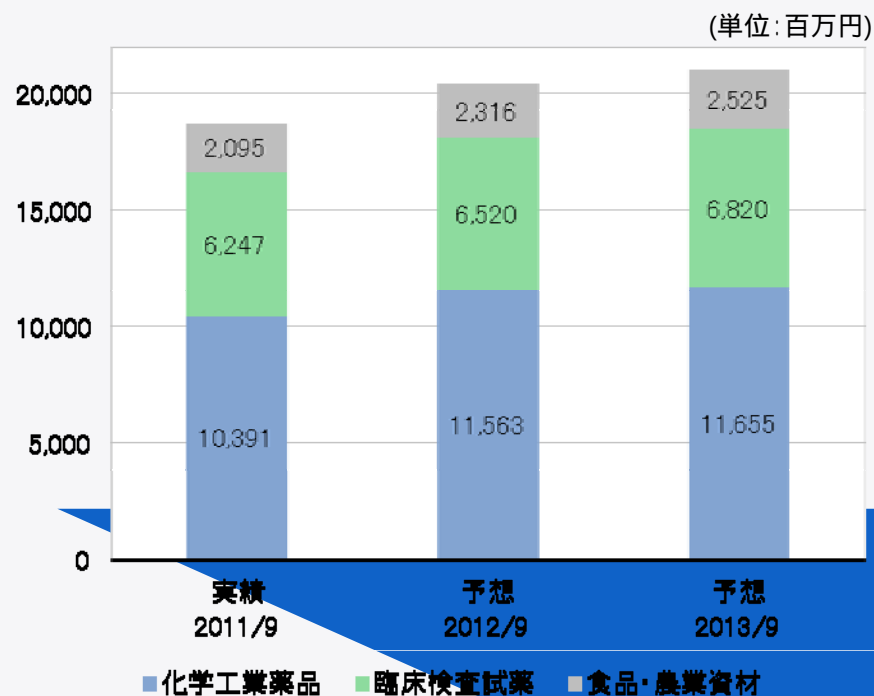
- 新規医療機関の獲得による臨床検査試薬増と新築病院に対する関連機器増を見込む
- 中期的には、青森県以外での地域での営業を強化

■ 食品・農業資材部門(営業第1グループ)

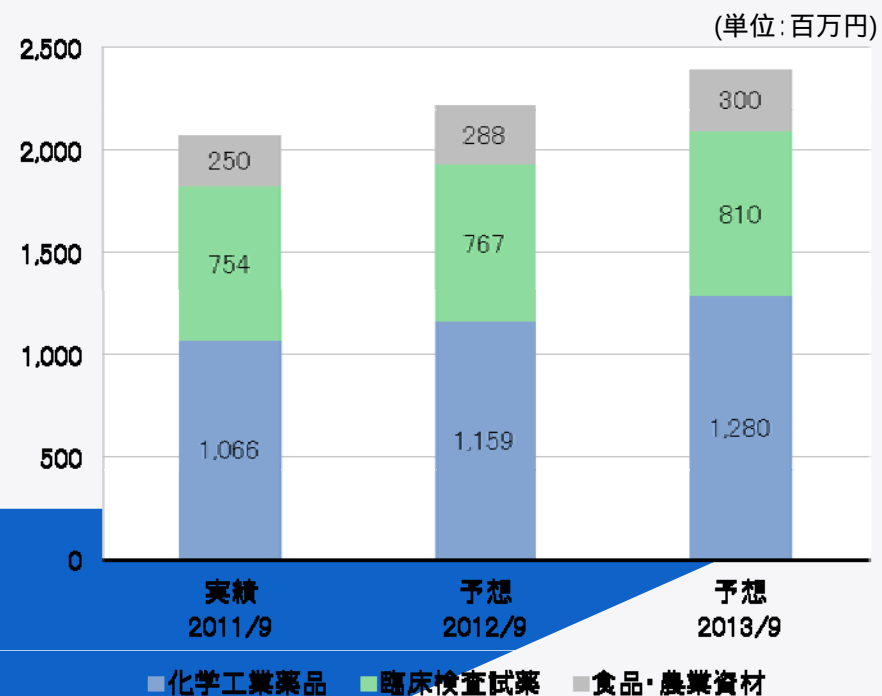
- 食品部門は、販売品目(粉類、糖類、品質改良剤、調味料など)の拡大と震災後の操業再開を見込む
- 農業資材部門は、果樹水稻農薬の販売エリア拡大を見込む

中期経営計画 (1)

売上高



売上総利益



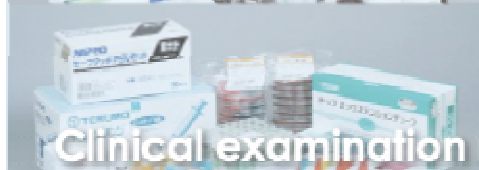
2012年 業績目標

売上高 : 204億円
 経常利益 : 3.03億円

- 関東エリアへの展開強化(企業の広域化)
 - 生命研、日栄東海との連携強化・シナジー効果を図りながら具体化させていく
 - 東京支店強化
- 利益確保の販売戦略の確立(付加価値高のアップ)
 - 仕入先との関係強化により、利益総額のアップを目指す。(手数料ビジネスも積極的に展開)
 - 当社オリジナル商品の開発
- 販売品目の更なる拡販強化を図る
 - 新規の顧客開拓及び既存重要顧客への深耕
 - 販売・物流体制の見直しを継続
 - 国立・私立大学、各種研究機関への拡販(先端研究への取組み支援)
 - 各事業所のラインアップ増加による拡販(新商材の積極的取扱い)
 - 臨床検査試薬部門は宮城、山形、岩手(北星化学)及び関東圏(日栄東海)の拡販強化
 - 総合機器リースシステムの提案による病院検査部の自主運営を強力支援継続
 - 食品・農業資材は岩手・仙台・山形・関東圏への大手新規顧客開拓と既存得意客先への拡販
- ビジネス環境変化に対するスピーディーな体質改革を図る
 - 各種医療機関における共同入札(共同購入)への対応を継続...同業者(専門卸)と連携強化
 - 製薬・医療関連・食品分野への拡販...製薬プロジェクトチームによる展開強化
 - 与信管理・内部統制の更なる強化及びコンプライアンスの徹底
 - 震災復興・地域再生への貢献
 - 官庁ビジネスの民間委託(PFI化)への更なる対応強化



Chemical industrial medicine



Clinical examination reagent



Food



Agricultural materials

第三部 東北化学薬品における バイオITビジネス戦略

説明者
常務取締役 管理グループ長兼
生命システム情報研究所所長

築舘 宏治

生命システム情報研究所概要 (2011年9月30日現在)

開設	平成15年7月1日
所在地	岩手県盛岡市大通3-3-10
所員	9名(研究員5名、学術営業2名、事務員1名、出向者1名:弘前大学医学部、博士4名を含む)
事業	- 営業部門への支援活動 - 営業担当者との同行PRや講習会を通じた技術・知識の習得支援 - 販売代理店への講習会開催や学術・技術支援 - ユーザーへ技術セミナー等を通じた情報提供 - 研究所の事業展開 - 受託サービス - 遺伝子発現データ解析サービス - 次世代シーケンスデータ解析サービス - 遺伝子工学関連実験サービス - バイオ系産学官連携事業や共同研究への対応と推進

- 当社の営業マン・代理店・ユーザーへの支援活動
 1. バイオ系営業活動に対し、同行PRや勉強会を行い、技術・知識等の習得支援を行っています。
 2. 代理店に対し、講習会やセミナーを通じ販売方法や技術の提供を行っています。
 3. ユーザーに対し、セミナー等を通じた情報提供を行っています。



当社営業マンへの合同勉強会



秋田県立大学 次世代シーケンサーのセミナー



理化学研究所 八尾博士を招いたセミナー

なぜ受託事業なのか？

受託市場拡大の背景

○ バイオ研究環境の変化

- (1) 技術革新による研究機器の高機能化
 - 機器の使用に関して、高度な専門性と解析スキルが求められた
- (2) 研究機器導入コストの増加
 - 予算縮小により高額機器の購入・維持が困難になった
- (3) 研究の加速化
 - 競争力向上のため、研究過程の高速化・合理化が求められた

ユーザー単独で高額な機器の購入が難しくなった

研究が進まない

機器を持っている所へ実験を依頼

解析できないデータが多くなった

受託業者へ依頼

遺伝子受託解析市場への参入

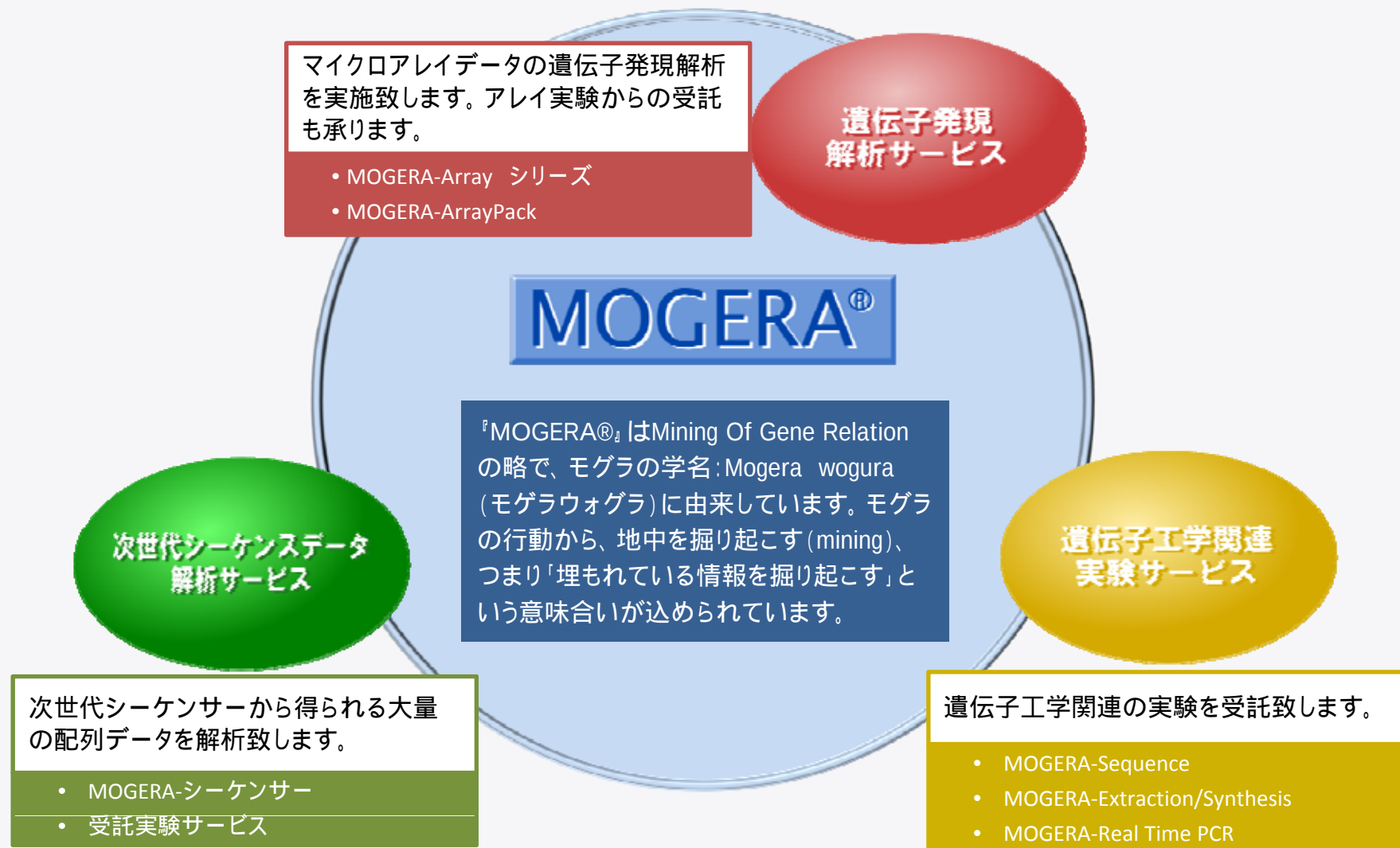
○ データ解析に特化した受託ビジネスの展開

- 専門性が必要とされるデータ解析を展開することで、顧客の研究をサポート
- 実験受託会社との連携により、実験外注を実現し、幅広いニーズに対応

○ 研究員から見た市場動向の把握

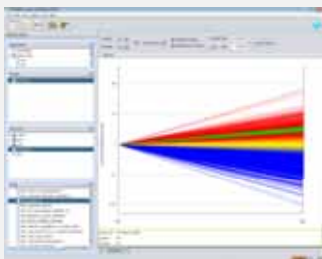
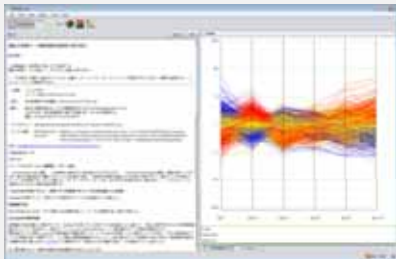
- 顧客ニーズに合った商品開発・関連するバイオ商品の販売促進が可能となった

1. 受託サービス一覧



1. 受託サービス一覧・・・(1) 遺伝子発現データ解析サービス

MOGERA®-Array シリーズ

遺伝子発現データ解析 MOGERA®-Array セルフ	遺伝子発現データ解析サービス MOGERA®-Array アシスト	マイクロアレイ受託データ解析サービス MOGERA®-Array プレミアム
マイクロアレイ実験後すぐに自分で解析をしたいアレイ熟練ユーザー向け  最新のアノテーション情報と、実験データについての便利な自社開発の解析ツールを提供	マイクロアレイ解析は未経験で解析を依頼したい初心者ユーザー向け  標準的な解析メニューに加え、オプションで好みの解析が追加可能。ユーザーの研究背景を踏まえたディスカッション付き解析を実施	特殊アレイの解析、統合解析など様々なユーザーのニーズに対応する特注解析  コンサルティングにより研究目的に沿った解析が実現可能な、アレイのカスタム解析。より高度な解析や大量データの解析にも対応

実験付き解析サービス
MOGERA®-Array Pack

- アレイ実験は、アレイメーカー・生物種を自由に選択可能
- データ解析は、セルフ・アシスト・プレミアムの3サービスより選択

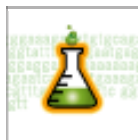
1. 受託サービス一覧・・・(2) 遺伝子工学関連実験サービス

研究の効率化をサポートするため、遺伝子工学関連の実験受託サービスを展開

DNAシーケンス解析サービス

MOGERA®-Sequence

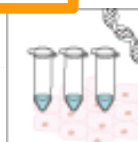
ご提供いただいたサンプルの塩基配列を解析し、ご報告いたします。



DNA抽出・RNA抽出・cDNA合成サービス

MOGERA®-Extraction/Synthesis

様々な生体サンプルからのDNA抽出・RNA抽出・cDNA合成を行います。



リアルタイムPCR遺伝子発現定量サービス

MOGERA®- Real Time PCR

ご希望の遺伝子の発現量をリアルタイムPCRで定量いたします。新規遺伝子の発現レベルの評価や、マイクロアレイの結果の評価などに利用できます。

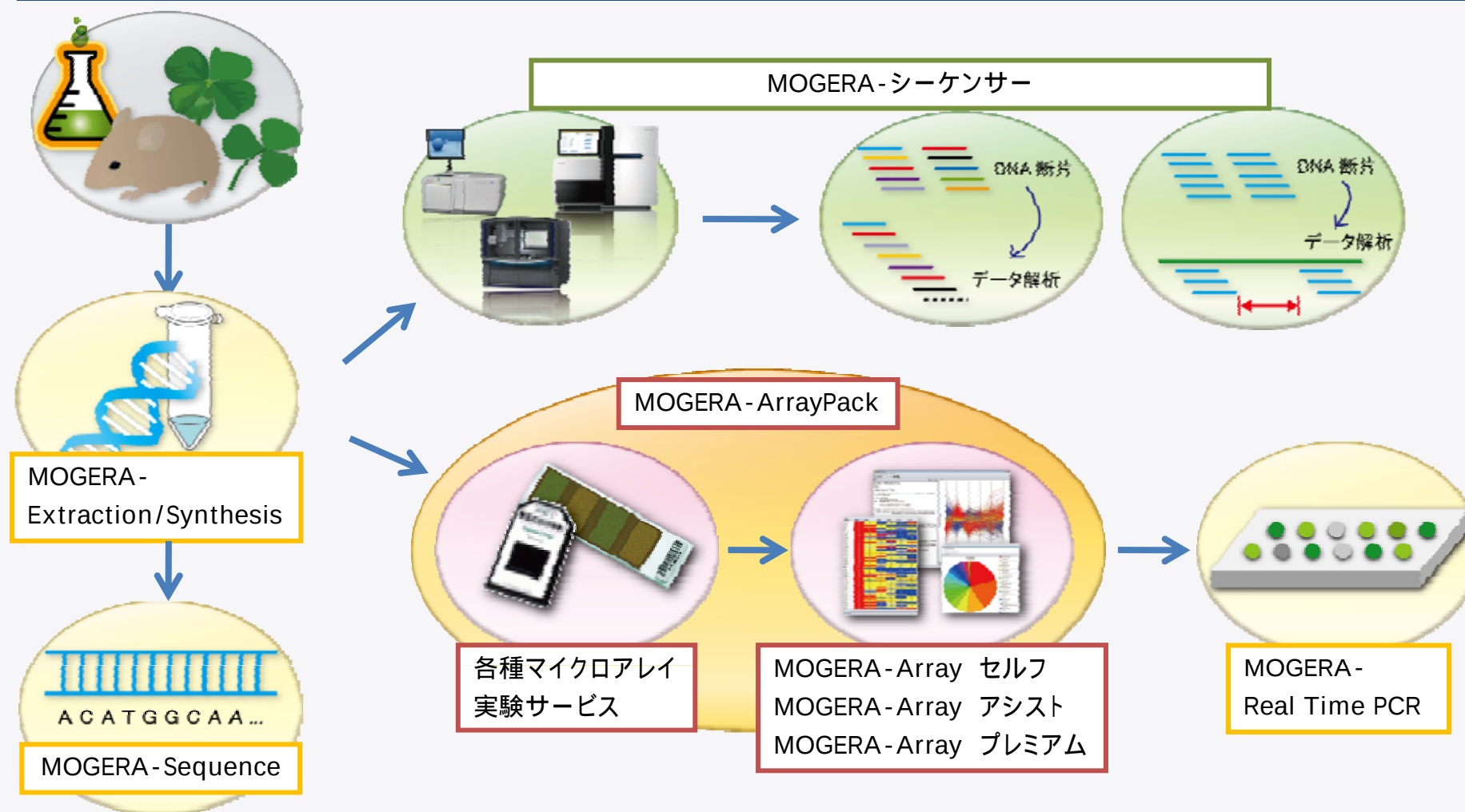


秋田県立大学との提携事業

秋田県立大学バイオテクノロジーセンターとの提携により、以下のサービスについても取り扱いをしております。

1. ジェネティックアナライザーを用いた各種遺伝子解析
2. rDNA等の配列に基づく生物種の分子同定
3. qPCR解析
4. 遺伝子組換え植物体の作成
5. デンプン構造と物性分析、熱糊化特性分析、粘度特性分析

1. 受託サービス一覧・・・(3) 生命研サービスを利用しての研究展開



マイクロアレイ実験前の抽出から、実験後の評価までトータルサポート！！

共著論文

■ 岩手大学大学院 連合農学研究科 鈴木幸一先生の発表論文(2010年)

- 当社研究所の松田研究員が行ったアレイデータの解析結果について、共著として論文が発表されました。

(掲載誌:Peptides 2010; 31, 827-833)

生命研ユーザーの執筆論文中で公表された解析実績

■ 協同乳業 株式会社研究所 松本光晴様の発表論文(2011年)

- 当社研究所にご依頼頂いたアレイデータ解析結果が発表されました。

(掲載誌:PLoS One. 2011;6(8):e23652. Epub 2011 Aug 16.)

ビフィズス菌LKM512株がマウスの長寿に影響することを示唆した論文で、
TVや新聞など数多くのマスコミに大きく取り上げられました。

■ 神戸大学大学院 農学研究科 星信彦先生・三觜友子先生の発表論文(2010年)

- 当社研究所にご依頼頂いたアレイデータ解析結果が発表されました。(掲載誌: Congenital Anomalies 2010; 50, 40 51)

学会で発表された論文

■ 明治大学 矢野健太郎先生の発表論文

- 当社研究所の千葉研究員が解析ソフトを開発し、共著として学会にて発表されました。

- 対応分析に基づく大規模トランスクリプトーム解析手法と解析ツールの開発

(日本分子生物学会 第32回年会 2009年12月8-12日 横浜パシフィコ)

- 大規模な配列データに基づく発現遺伝子解析手法の開発

(日本植物生理学会 第51回年会 2010年3月18-21日 熊本大学)

納入実績

大学					
愛媛大学	弘前大学	新潟大学	鳥取大学	東洋大学	北海道大学
旭川医科大学	香川大学	神戸大学	帝京大学	藤田保健衛生大学	北里大学
岡山大学	札幌医科大学	青森県立保健大学	東海大学	徳島大学	名古屋市立大学
岩手医科大学	三重大学	千葉大学	東京医科歯科大学	日本医科大学	名古屋大学
岩手大学	山形大学	川崎医科大学	東京医科大学	浜松医科大学	明治大学
京都大学	自治医科大学	早稲田大学	東京女子医科大学	富山大学	The University of Maryland
金沢医科大学	鹿児島大学	大阪大学	東京大学	福岡大学	
群馬大学	秋田県立大学	大分大学	東京理科大学	福島県立医科大学	
慶應義塾大学	秋田大学	筑波大学	東北大学	防衛医科大学校	
民間・試験研究機関等					
(財)かずさDNA研究所	(独)科学技術振興機構(JST)	(独)作物研究所	(独)農業生物資源研究所	秋田県総合食品研究センター	大手タイヤメーカー
(財)環境科学技術研究所	(独)国際農林水産業研究センター	(独)東北農業研究センター	(独)放射線医学総合研究所	八戸工業高等専門学校	大手化粧品メーカー
(財)岩手生物工学研究センター	(独)国立がんセンター研究所	(独)畜産草地研究所	(独)理化学研究所	大手製紙メーカー	食品メーカー
(財)東京都臨床医学総合研究所	(独)国立長寿医療センター	(独)動物衛生研究所	茨城県衛生研究所	大手製薬メーカー	アレイ受託サービス会社
(独)医薬基盤研究所	(独)酒類総合研究所	(独)野菜茶業研究所	国立感染症研究所	大手製油メーカー	パイオ試薬関連会社
(独)宇宙航空研究開発機構(JAXA)	(独)果樹研究所	(独)農業環境技術研究所	埼玉県立がんセンター	大手化学工業薬品メーカー	大学発ベンチャー企業

	引合案件	売上計上
2010年9月期実績	63件	43件
2011年9月期実績	82件	48件

2. バイオ系産学官連携事業および共同研究

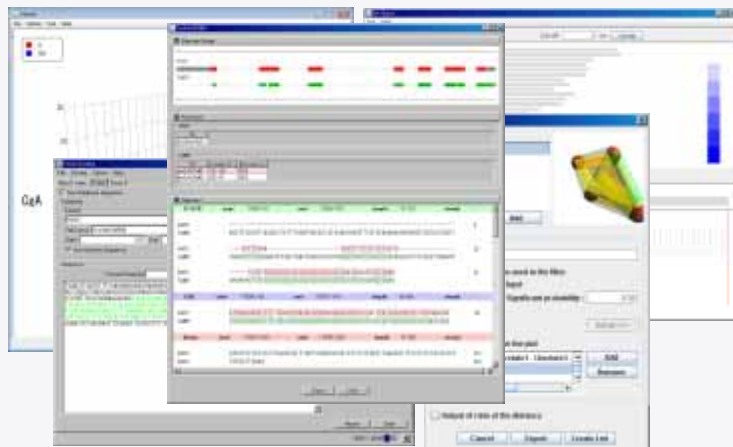
受託サービスで培った技術を生かし、研究機関との連携事業を行っています。

【これまでの実績】

平成15年10月	岩手医科大学との産学連携共同研究として、 夢県土いわて戦略的研究推進事業 「脳血管疾患個別化医療確立に向けたバイオチップ開発と個人情報管理端末開発研究」に参画
平成16年06月	岩手医科大学との共同研究「胚における血管網形成因子の同定と再生医学への応用」が 日本学術振興会科学研究費補助金 (基盤研究(B))に採択
平成18年01月	岩手医科大学との産学共同研究「脳血管疾患診断マーカーの同定と新規診断薬の研究開発」が 科学技術振興機構の育成研究課題 に採択
平成20年04月	弘前大学、福岡大学を中心とした「てんかん・熱性けいれん遺伝子解析グループ」の 共同研究 に参加
平成21年02月	岩手大学・岩手医科大学との共同研究「過敏性腸症候群の診断に用いる非侵襲マルチ分析チップの開発」が 科学技術振興機構「地域ニーズ即応型」 課題に採択

弘前大学との「てんかん」についての共同研究は現在も継続しています。

プログラム開発サービス



- ユーザーのご要望に応じてプログラムを開発するサービスです。

< 対応例 >

- 遺伝子解析ソフトウェア
- Web上で動作する統計計算エンジン
- アノテーション作成ソフトウェア

開発事例



PLUG System

- イネゲノム配列との比較によるムギ類PCR用プライマー (PLUG) 作成ソフトウェア
- 複数の公共データベースやサイトを横断的に利用しマーカを開発していたものを限りなく自動化

- これまで20件受注(上半期 2件の受注を含む)、その他3件受注予定(2011年12月1日現在)。

次世代シーケンサーとは？

多量のDNA配列を短時間に解読できる次世代シーケンサー

近年、発売された**第2世代のDNA配列を解読する装置**
従来機種(第1世代)と比較して、**1千倍以上の解読性能**を持つ
廉価版が発売され、販売台数を伸ばしている

廉価版次世代シーケンサー

Roche

GS FLX+

GS Junior



illumina

HiSeq2000

MiSeq



Life Technologies

5500xl Genetic Analyzer

Ion PGM



MOGERA®- シーケンサー

お客様のご要望に合わせて、多様な解析サービスをご提供

サンプル調整・実験

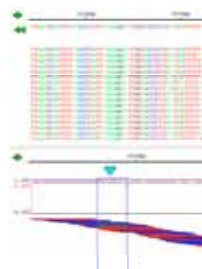
様々な生物種、実験概要に適した各社シーケンサーの実験を承ります。

生データを用いた配列決定作業

De novoシーケンス

未だゲノム配列が分かっていない生物種が対象

参照配列がない状態で、短い配列の断片から元のゲノム配列を再構築



リシーケンス

既にゲノム配列(参照配列)が分かっている生物種が対象

参照配列に対して、短い配列の断片を配置し元のゲノム配列を再構築



配列決定後の解析作業

コンサルティングにより、要望に応じた解析を実施

アノテーション

多型情報(SNP)解析
ACGTACGTACGTAC
ACGTACGTACGTAC
ACGTACGTACGTAC

挿入/欠損解析

ACGTACGTACGTAC
ACGTACGTACGTAC
ACGTACGTACGTAC

Exome解析



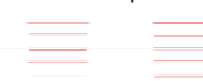
遺伝子発現解析



メチレーション解析

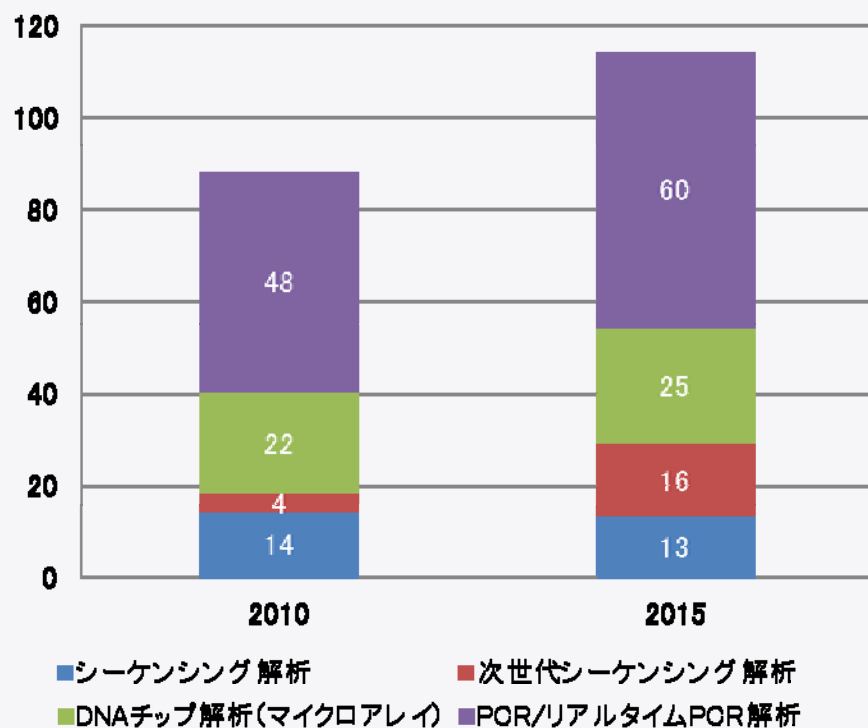
ACGTTACGCTGCA
ATGTTACGCTGCA

ChIP-Seq

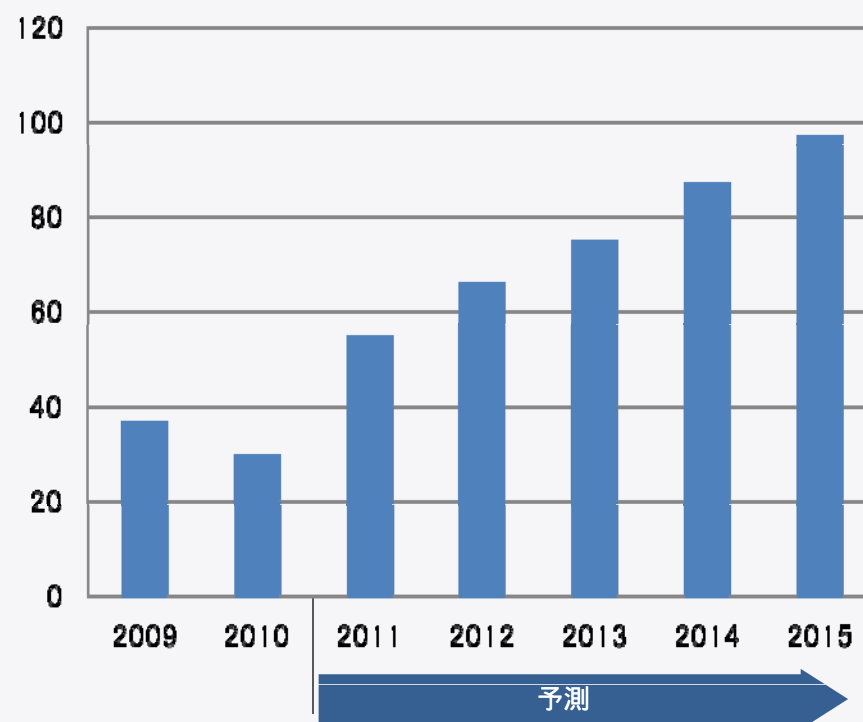


受託解析市場の予測

遺伝子受託解析市場の予測(億円)



次世代シーケンサー市場の予測(億円)



出典:2011年2月 (株)シード・プランニング『遺伝子解析支援ビジネス市場動向調査結果』より

1. 営業部門への支援活動

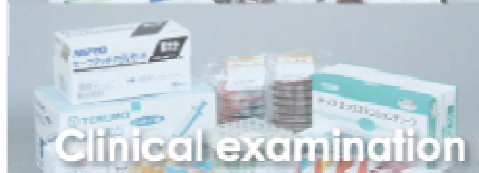
- 1) 首都圏での営業展開へ積極的に協力します。
民間研究所に同行PRを行い、口座獲得を目指します。
解析の無料相談会を実施し、受託サービスをPRします。
- 2) レベルアップを目的とした、営業担当者向けセミナーを実施します。
- 3) 東北管内で、最新技術や研究情勢を紹介する顧客向けセミナーを開催し、営業活動をサポート致します。

2. 研究所の事業展開

- 1) ゲノミクス関連受託サービスの種類を増やします。
 - ・ 次世代シーケンスの配列決定後の各種データ解析について商品化を行います。
 - ・ マイクロアレイデータの特異解析について、対応を拡大します。
- 2) 研究補助としてカスタムプログラム作成に注力致します。



Chemical industrial medicine



Clinical examination reagent



Food



Agricultural materials

第四部 ご参考資料 東北化学薬品グループの 事業概要

会社概要

会社プロフィール

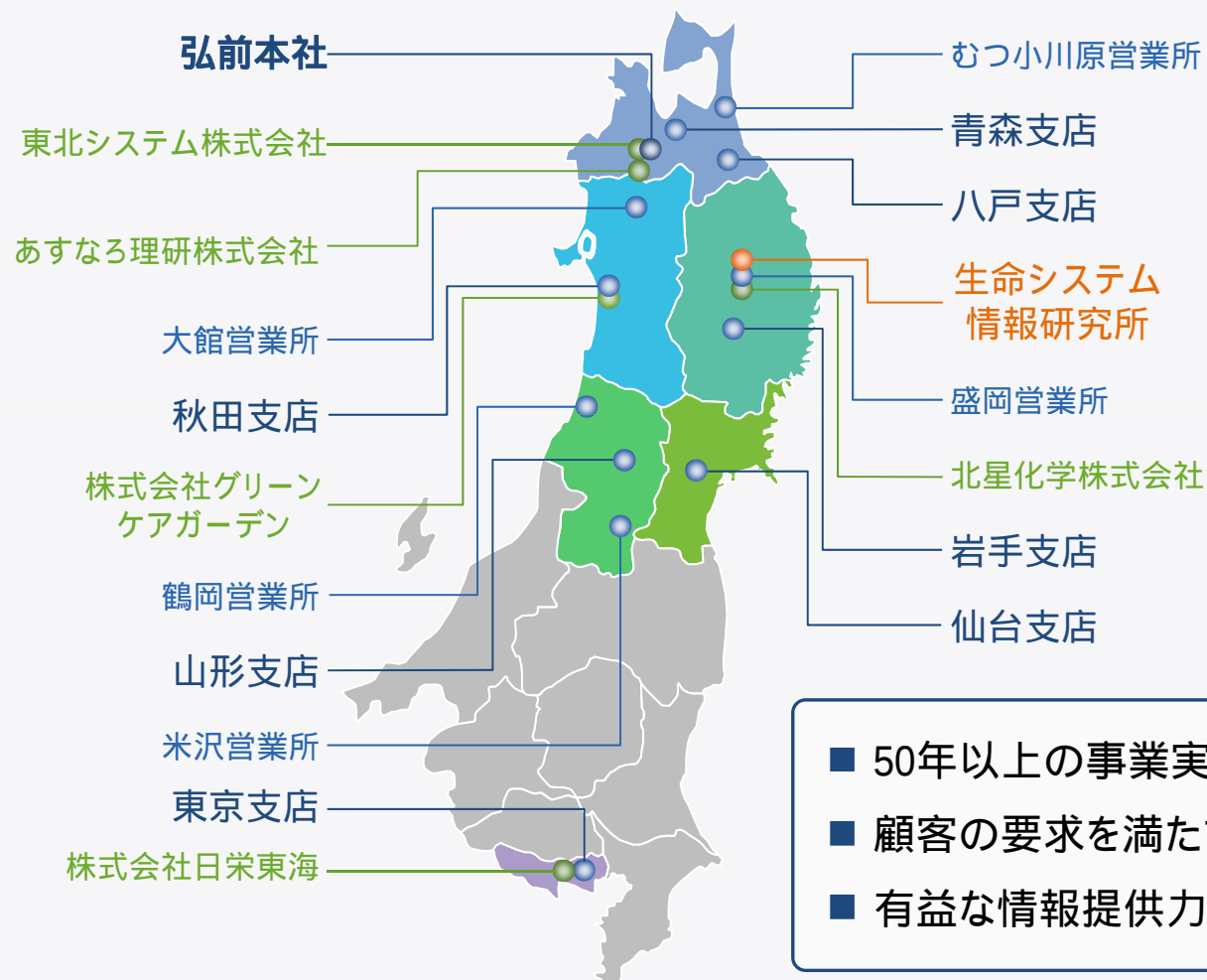
社名	東北化学薬品株式会社 TOHOKU CHEMICAL CO., LTD.
本社	青森県弘前市大字神田1-3-1
代表者	代表取締役社長 工藤 幸弘
設立	昭和28年2月
資本金	8億2,040万円
従業員	256名（連結：平成23年9月末現在）
売上高	18,734百万円（連結：平成23年9月期）
事業内容	化学工業薬品・関連機器 臨床検査試薬・関連機器 食品添加物・関連機器 農業資材・関連機器
連結子会社	あすなる理研株式会社 東北システム株式会社 北星化学株式会社



会社プロフィール

昭和28年 2月	青森県弘前市北瓦ヶ町で化学工業薬品の販売を目的として東北化学薬品株式会社を設立
昭和29年 8月	毒物劇物一般販売業の許可取得することにより、一般の化学工業薬品の他に毒物劇物の化学工業薬品の販売を開始
昭和30年 6月	医薬品卸売一般販売業の許可取得することにより、医薬品の販売を開始
昭和51年 9月	高压ガス販売事業の許可取得することにより、高压ガスの販売を開始
昭和58年 6月	化学工業薬品の製造をおこなうことを目的として、100%子会社の東奥科研(株)(現 あすなる理研(株)(現 連結子会社)を設立
昭和63年 8月	ソフトウェアの開発やパソコンの販売を目的として、子会社の東北システム(株)(現 連結子会社)を設立
平成元年 3月	自社所有の土地・建物の管理を目的として、100%子会社の(株)東化地所を設立
平成 4年10月	100%子会社(株)東化地所と合併
平成 7年 6月	日本証券業協会に株式を店頭登録
平成14年 1月	秋田支店においてISO14001の認証取得を受ける
平成15年 1月	本社においてISO14001の認証取得を受ける
平成15年 7月	先端バイオITビジネス発信及び営業支援のため、岩手県盛岡市に生命システム情報研究所を開設
平成16年 1月	岩手支店、仙台支店、山形支店においてISO14001の認証取得を受ける
平成16年12月	東北システム(株)においてISO9001の認証取得
平成17年 1月	鶴岡営業所においてISO14001の認証取得
平成17年 9月	(株)日栄東海と資本提携及び業務提携
平成18年11月	介護事業と医療分野の強化のため(株)グリーンケアガーデンを持分法適用関連会社化
平成19年4月	岩手県地区への販売強化を目的として北星化学(株)を完全子会社化
平成20年10月	山形支店、北星化学(株)の臨床検査試薬部門強化
平成22年 4月	(株)日栄東海の持分法適用関連会社化

営業エリア (2011年9月30日現在)

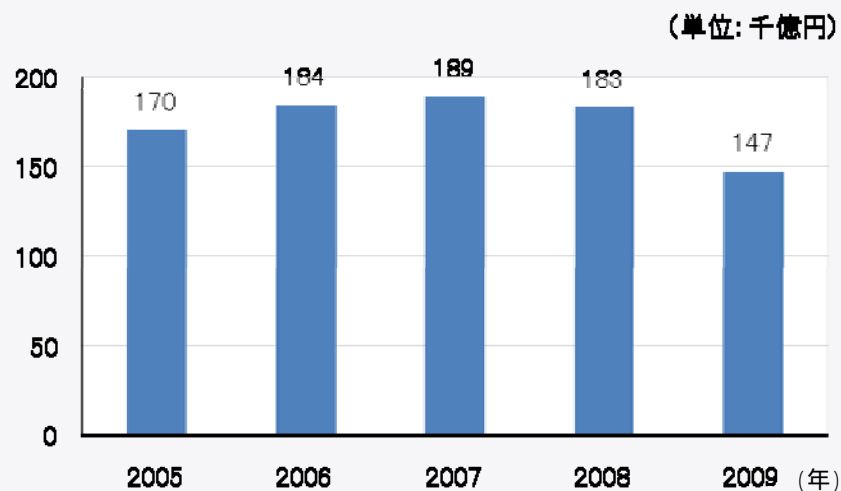


- 50年以上の事業実績による顧客との信頼関係
- 顧客の要求を満たす設備や技術を保有
- 有益な情報提供力により高度なサービスを提供

化学工業薬品部門

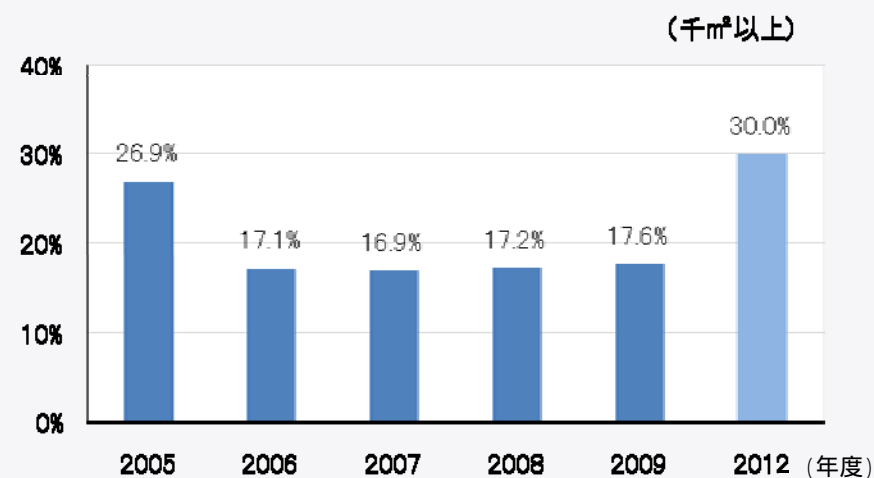
- 震災影響からの復興による操業回復事業に対応する
- ジェネリック医薬品製造の拡大により需要拡大
- 環境対策用化学工業薬品及び関連商品の需要拡大
- リサイクルビジネスの需要拡大
- 官公庁(上・下水道)の包括管理下による受注拡大

東北6県における製造出荷額推移



出所: 経済産業省「工業統計調査」

ジェネリック医薬品の全国シェア (数量)

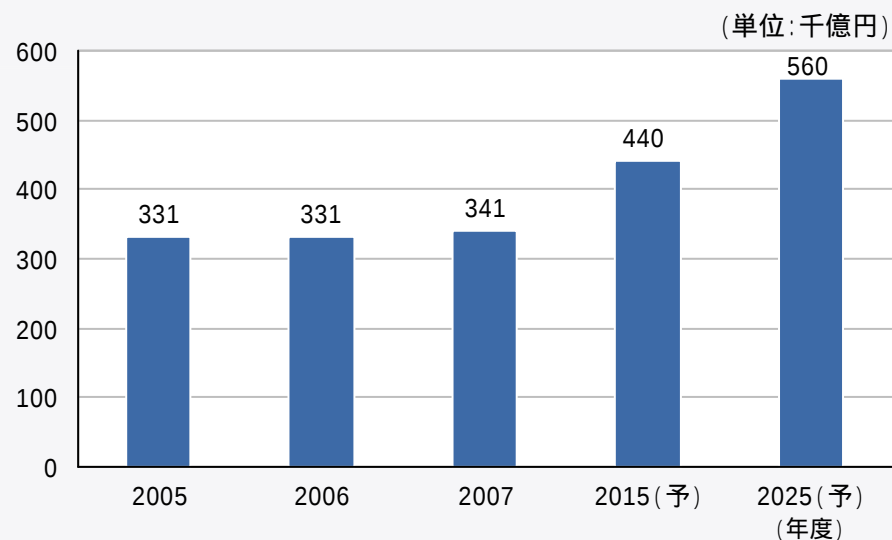


出所: 日本ジェネリック製薬協会

臨床検査試薬部門

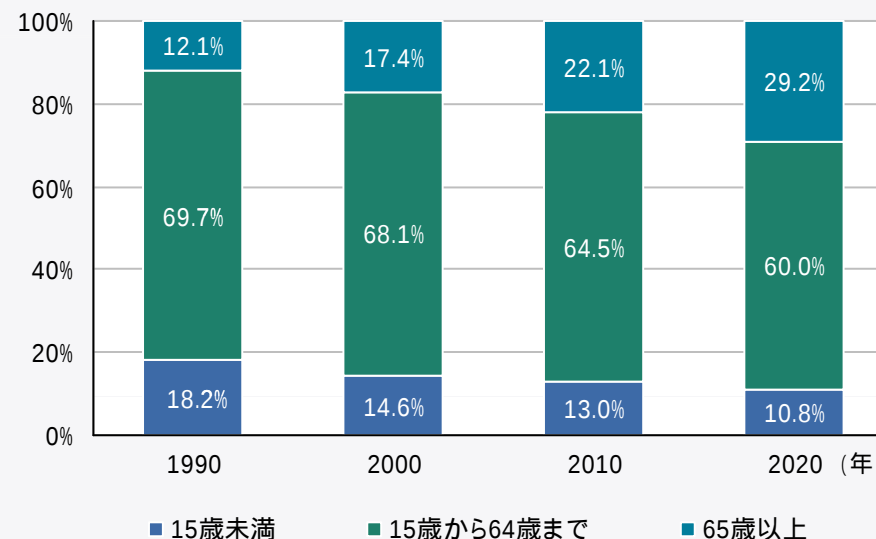
- 超高齢化社会及び地域医療を展望した新たな医療制度への対応
- ハイクオリティー医療と予防医学を重視し、生活習慣病予防へ対応

国民医療費の推移



出所: 「平成19年度国民医療費の概況について」「医療費の将来見通しに関する検討会」厚生労働省

国民の人口比率の推移



出所: 2000年までは総務省統計局「国勢調査」
2010年からは国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」による中位推計

事業内容

- 化学工業薬品/化学工業薬品関連機器販売
 - IT関連・製薬・環境の各産業界、大学や試験研究所に対し販売

主要顧客

- 民間企業(半導体・液晶・製薬など)
- 大学、高専、各種研究機関
- 官公庁(上下水道、し尿・ごみ処理場など)

事業の特徴

- 顧客からの発注要請に迅速に対応できる諸設備を保有
 - 大量の化学工業薬品配送用設備を保有
(大口・小口ともローリーで対応可能)
 - 危険物用温調付きの特殊倉庫を保有
- 多品目の最先端技術関連の特殊工業薬品類を提供
 - レジスト、現像液、剥離液、リンス液、反射防止膜等
- 生命システム情報研究所の事業とのシナジー効果により、バイオ市場への拡販を図る



事業内容

- 臨床検査試薬/臨床検査関連機器の販売
 - 医療現場のニーズを取り入れ、様々な医療関連の試薬、機器等の取扱い、臨床検査試薬・機器、画像診断関連機器などの販売



主要顧客

- 国公立病院、民間医療機関、検査センター

事業の特徴

- 事業部設立時から培われた各大学・病院との強い結びつきにより、売上・利益を拡大
- 総合機器リースシステムの提案による病院検査室におけるトータル販売
- 日栄東海及び北星化学との連携による販売圏の拡大
- 新規商材を含む医療材料のトータル販売による医療現場へのアプローチ及び販売
- ヘルスケアを目的とした健康関連商材、衛生関連商材の販売

事業内容

■ 食品分野/農業資材分野

- 豊かに広がる食の充実に欠かせない食品添加物、食品素材、加工分析機器、衛生用品、工業薬品、分析用試薬等の販売
- 農薬および農業関連資材の販売、種苗、花卉生産用鉄骨温室などの設備施設販売

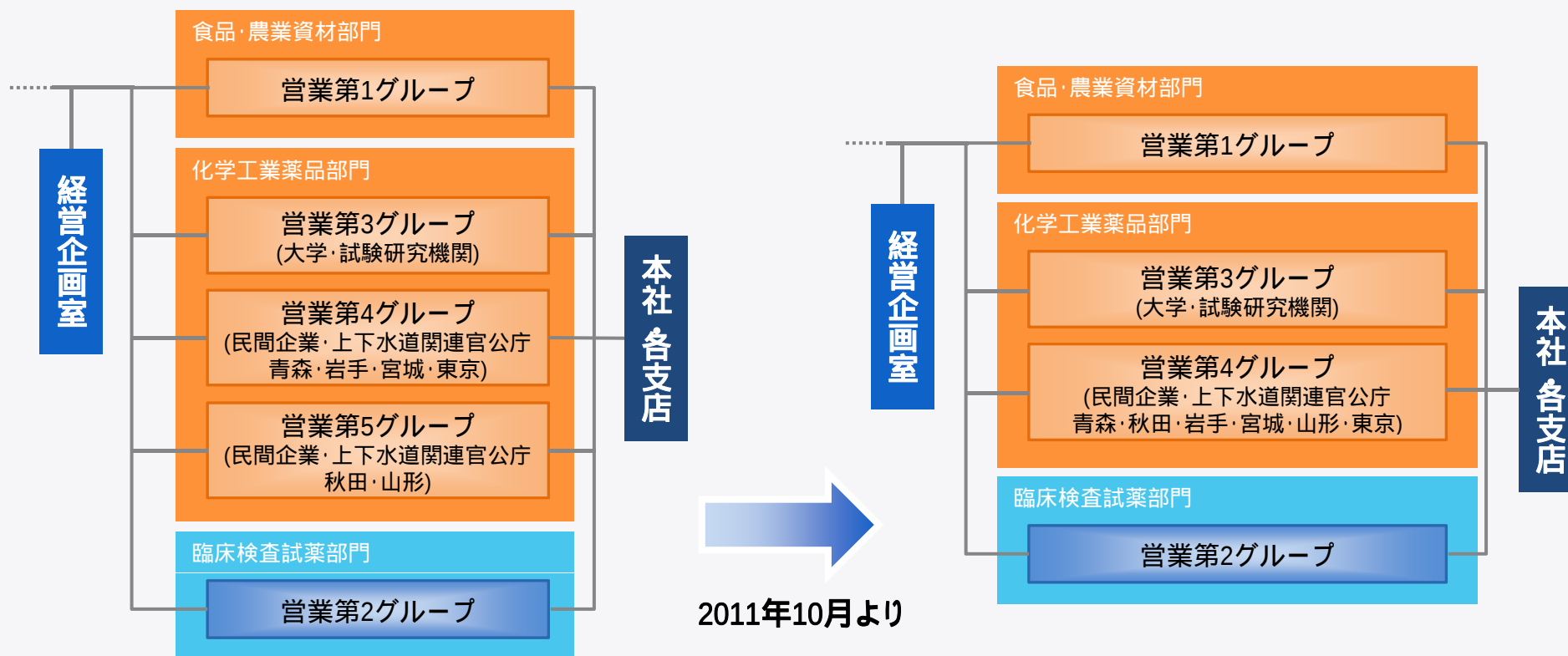
主要顧客

- 食品工場、JA、共同防除組合等

事業の特徴

- 食品分野では、食品添加物をはじめ、食品工場で使用するほとんどの商品を取り扱っており、顧客からの幅広いニーズに迅速に対応
- 農業資材分野では、農薬に加え自社ブランドの肥料、生産副資材等幅広い商品群を用意





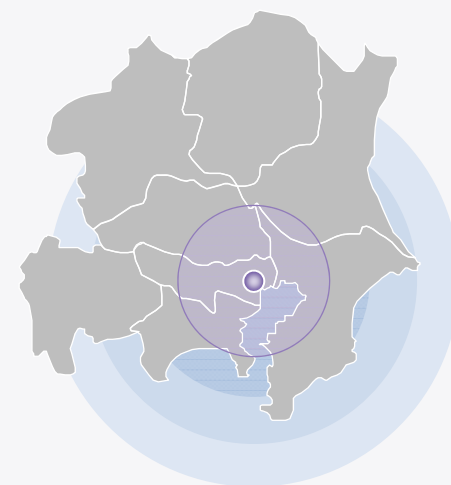
- 経営環境の変化に即応するために営業第4グループと営業第5グループを統合
- 業務を細分化し、きめ細かい組織対応が可能→ビジネス環境の変化への対応スピード化

2010年4月22日 株式会社日栄東海の持分法適用関連会社化

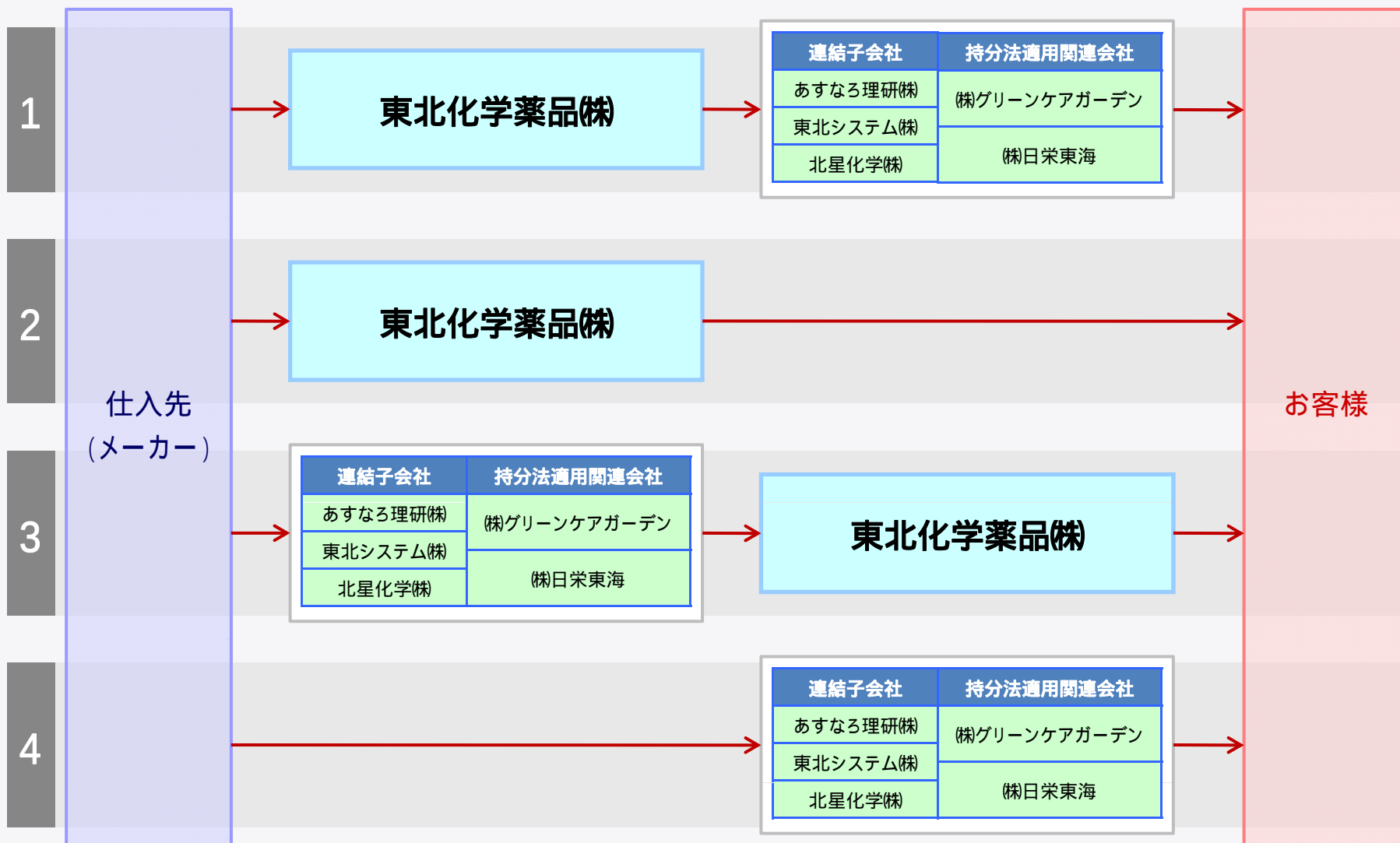
- 日栄東海との関係強化及び関東での営業活動の具体化のため株式の一部を追加取得
 - 関東圏でのシェア拡大
 - 各種医療機関における共同入札(共同購入)への対応
 - 優良顧客の囲い込み
 - 人事交流



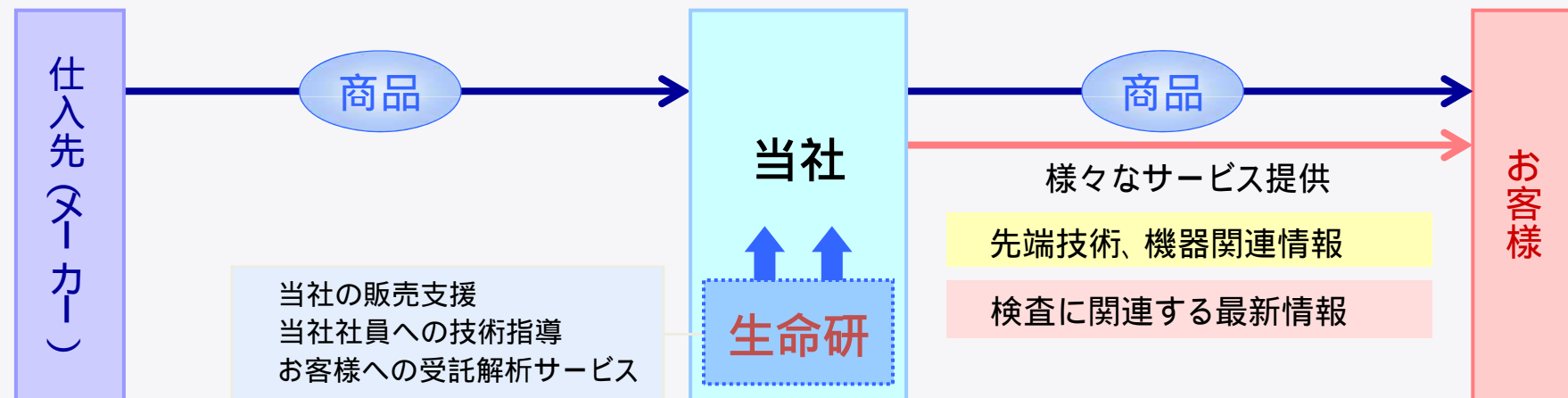
代表者	代表取締役社長 坂牧 昇
所在地	東京都中野区中野6-15-13
設立年月日	昭和28年12月23日
主な事業内容	臨床検査試薬、試薬、工業薬品、医療用器械器具の販売
事業年度の末日	3月31日
従業員数	76名(平成23年3月期)



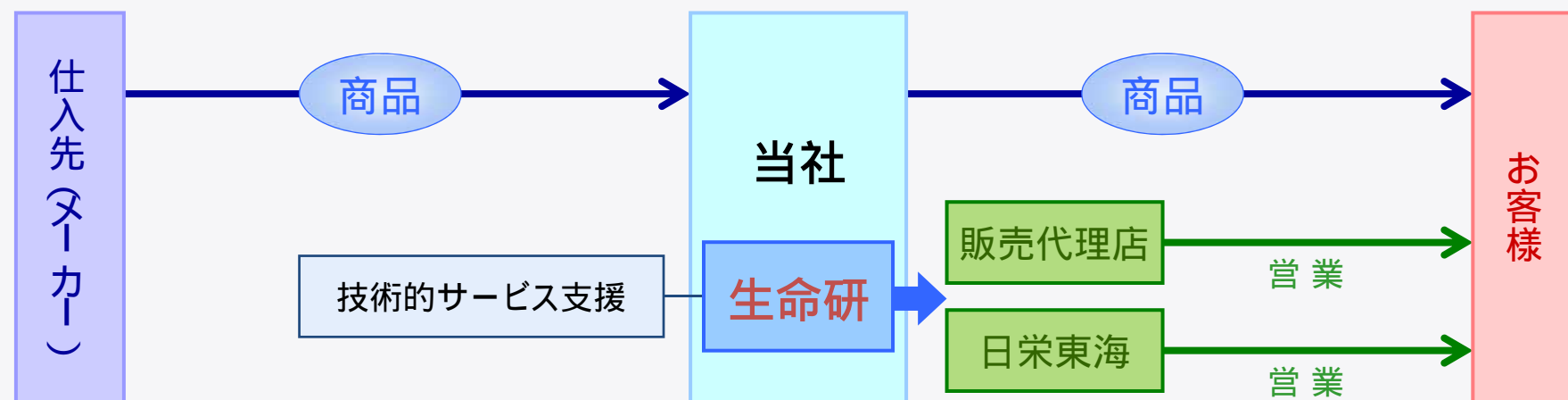
企業集団の系統図



東北圏



関東圏



顧客から信頼される商品供給力を保有

- 各拠点に安全性が高い貯蔵施設を配置し、信頼度の高い優れた保管体制を保持
- 顧客からの緊急な注文に対して、迅速な対応が可能

専門性が高く、情報提供力を武器にした営業を実践

- 昭和28年の創業以来、化学工業薬品メーカーや臨床検査試薬関連メーカーとの強固な結びつきから様々な情報を提供可能
- 工場の各部門(製造、研究、品質管理等)への幅広い商品展開が可能
- 生命システム情報研究所からの様々な情報を利用した質の高い営業を実践
- 業務を熟知した多数の専門家を保有

危険物取扱者(甲種・乙種)	 75名	薬剤師	 8名
毒物劇物取扱主任者	 65名	介護支援専門相談員(ケアマネージャー)	 5名
高圧ガス第一種販売主任者	 31名	高度管理医療機器販売責任者	 13名
博士号取得者	 9名	医療機器修理講習修了者	 25名

(注)2011年9月末現在

顧客に対して、付加価値の高いサービスを提供

- 生命システム情報研究所による様々な試験・研究でのデータ解析サービスを提供
- 販売代理店に対しても付加価値のある情報を提供し、サービス強化をサポート

IRに関するお問合せ先

東北化学薬品株式会社
管理グループ経理部 部長 小寺 伸哉
電話：0172-33-8101
E-mail：kodera@t-kagaku.co.jp

東北化学薬品ホームページ URL：
<http://www.t-kagaku.co.jp>

生命システム情報研究所ホームページURL：
<http://www.t-kagaku.co.jp/seimeiken/>

将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。